



2022年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年5月12日

上場会社名 JCRファーマ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4552 URL <https://www.jcrpharm.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 芦田 信
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 本多 裕 TEL 0797(32)1995
 定時株主総会開催予定日 2022年6月22日 配当支払開始予定日 2022年6月23日
 有価証券報告書提出予定日 2022年6月22日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期の連結業績（2021年4月1日～2022年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|----------|--------|------|--------|-------|--------|-------|-----------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期 | 51,082 | 69.8 | 19,933 | 141.1 | 20,512 | 141.6 | 14,507 | 110.5 |
| 2021年3月期 | 30,085 | 21.4 | 8,269 | 154.9 | 8,488 | 157.7 | 6,892 | 157.4 |

(注) 包括利益 2022年3月期 14,514百万円 (112.2%) 2021年3月期 6,841百万円 (173.1%)

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 自己資本当期純利益率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|----------|------------|-------------------|------------|----------|----------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2022年3月期 | 117.26 | 116.80 | 32.9 | 24.0 | 39.0 |
| 2021年3月期 | 55.81 | 55.53 | 19.8 | 14.0 | 27.5 |

(参考) 持分法投資損益 2022年3月期 ー百万円 2021年3月期 ー百万円

(注) 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2022年3月期 | 97,134 | 51,089 | 51.8 | 406.57 |
| 2021年3月期 | 73,784 | 38,557 | 51.3 | 306.31 |

(参考) 自己資本 2022年3月期 50,316百万円 2021年3月期 37,864百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|----------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2022年3月期 | 9,289 | △3,250 | △2,179 | 30,733 |
| 2021年3月期 | 10,341 | △3,290 | 8,304 | 26,260 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額(合計) | 配当性向(連結) | 純資産配当率(連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|-----------|----------|------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | | | |
| 2021年3月期 | ー | 18.00 | ー | 7.50 | ー | 1,487 | 21.5 | 4.3 |
| 2022年3月期 | ー | 10.00 | ー | 12.00 | 22.00 | 2,730 | 18.8 | 6.2 |
| 2023年3月期(予想) | ー | 10.00 | ー | 10.00 | 20.00 | | 24.0 | |

(注) 1. 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2021年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「ー」として記載しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の2021年3月期の1株当たり第2四半期末配当金は4円50銭となり、1株当たり年間配当金は12円00銭となります。

- 2021年3月期期末配当金の内訳 普通配当7円00銭 記念配当0円50銭
- 2022年3月期期末配当金の内訳 普通配当10円00銭 特別配当2円00銭

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-------|--------|-------|--------|-------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 45,000 | △11.9 | 14,500 | △27.3 | 14,500 | △29.3 | 10,300 | △29.0 | 83.25 |

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料13ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 2022年3月期 | 129,686,308株 | 2021年3月期 | 129,686,308株 |
| 2022年3月期 | 5,929,344株 | 2021年3月期 | 6,071,644株 |
| 2022年3月期 | 123,720,398株 | 2021年3月期 | 123,517,401株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

（注）当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

（参考）個別業績の概要

1. 2022年3月期の個別業績（2021年4月1日～2022年3月31日）

（1）個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|--------|------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期 | 51,081 | 69.8 | 20,137 | 133.0 | 20,425 | 137.7 | 14,446 | 104.0 |
| 2021年3月期 | 30,085 | 21.7 | 8,641 | 162.8 | 8,594 | 157.1 | 7,081 | 158.3 |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|----------|----------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | 116.77 | 116.31 |
| 2021年3月期 | 57.33 | 57.05 |

（注）当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

（2）個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2022年3月期 | 97,033 | 50,939 | 51.9 | 407.02 |
| 2021年3月期 | 73,727 | 38,546 | 51.6 | 307.64 |

（参考）自己資本 2022年3月期 50,371百万円 2021年3月期 38,028百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 経営成績に関する概況 | 2 |
| (2) 財政状態に関する概況 | 4 |
| (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 5 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 5 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 6 |
| (1) 連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 8 |
| 連結損益計算書 | 8 |
| 連結包括利益計算書 | 9 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 10 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 12 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 13 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 13 |
| (会計方針の変更) | 13 |
| (連結損益計算書関係) | 13 |
| (セグメント情報) | 13 |
| (1株当たり情報) | 14 |
| (重要な後発事象) | 15 |
| 4. その他 | 16 |
| 研究開発項目 | 16 |

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する概況

①当期の経営成績

売上高は510億82百万円（前期比69.8%増）となりました。

遺伝子組換え天然型ヒト成長ホルモン製剤「グロウジェクト[®]」は、販売数量は増加しましたが、2021年4月の薬価改定の影響を受けました。同じく薬価改定があった腎性貧血治療薬は減収幅が大きかったものの、2021年5月に薬価収載された「イズカーゴ[®]点滴静注用10mg」が大きく寄与したことなどにより、主力製品の売上合計は前期を上回りました。

また、アストラゼネカ株式会社の新型コロナウイルスに対するワクチンの原液の国内製造を受託したこと、契約金収入が前期より増加したことなどにより、売上高合計で前期に比べて大幅な増収となりました。

利益面におきましては、売上高増収に伴う売上総利益の増加（前期比82.4%増）の一方で、販売費及び一般管理費が前期比47.7%増となったことにより、営業利益は199億33百万円（前期比141.1%増）、経常利益は205億12百万円（前期比141.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は145億7百万円（前期比110.5%増）となり、いずれも増益、過去最高を記録しました。

積極的な研究活動および臨床試験の進捗に応じた開発活動の結果、研究開発費は33.9%増加し71億75百万円（前期比18億15百万円増）となりました。

なお、2021年9月に武田薬品工業株式会社とハンター症候群に対する次世代治療薬JR-141の特定地域における共同開発と事業化に向けた契約を締結いたしました。今回の契約により、当社グループはグローバルスペシャリティファーマとしてさらなる一歩を踏み出しました。

| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 増減 |
|-----------------|--|--|-------|
| | 金額 (百万円) | 金額 (百万円) | % |
| 売上高 | 30,085 | 51,082 | 69.8 |
| 営業利益 | 8,269 | 19,933 | 141.1 |
| 経常利益 | 8,488 | 20,512 | 141.6 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 6,892 | 14,507 | 110.5 |

②主な売上

| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 増減 |
|--|--|--|---------|
| | 金額 (百万円) | 金額 (百万円) | % |
| ヒト成長ホルモン製剤 グロウジェクト [®] | 13,256 | 12,945 | △2.3 |
| ムコ多糖症Ⅱ型治療剤 イズカーゴ [®] 点滴静注用 | — | 3,003 | — |
| 腎性貧血治療薬 | 7,087 | 5,875 | △17.1 |
| エポエチンアルファBS注「JCR」 | 3,278 | 2,876 | △12.2 |
| ダルベポエチンアルファBS注「JCR」 | 3,809 | 2,998 | △21.3 |
| 再生医療等製品 テムセル [®] HS注 | 2,441 | 3,497 | 43.2 |
| ファブリー病治療薬 アガルシダーゼベータBS点滴静注「JCR」 | 470 | 711 | 51.3 |
| 契約金収入 | 6,406 | 10,571 | 65.0 |
| AZD1222原液 | 404 | 14,375 | 3,458.3 |

(注) 契約金収入は共同開発および事業化に向けた契約が締結されたこと等に由来します。

③研究開発の状況

[ライソゾーム病治療薬]

- ・当社では現在、17種類を超えるライソゾーム病治療薬について独自の血液脳関門通過技術「J-Brain Cargo[®]」を適用した新薬の研究開発に重点的に取り組んでおります。
- ・血液脳関門通過型ハンター症候群治療酵素製剤パピナフスプ アルファ（開発番号：JR-141）については、2021年5月に日本での販売を開始いたしました（製品名「イズカーゴ。点滴静注用10mg」）。また、ブラジル連邦共和国では2020年12月にブラジル国家衛生監督庁（ANVISA）に製造販売承認申請を行いました。その他の地域では、2021年2月に米国食品医薬品局（FDA）よりFast Track指定（※1）を、2021年10月には欧州医薬品庁（EMA）よりPRIME（※2）の指定をそれぞれ受けております。2022年2月にはグローバル臨床第3相試験において最初の被験者への投薬が開始されております。
- ・血液脳関門通過型ムコ多糖症Ⅰ型治療酵素製剤（開発番号：JR-171）については、現在、日本・ブラジル・米国において臨床第1/2相試験を実施しており、2022年3月までに計画した全例の登録を完了しております。なお、2021年2月にFDAより、2021年3月に欧州委員会（EC）よりオーファンドラッグの指定を受けております。また、2021年9月にFDAよりFast Track指定を受けており、米国における臨床開発の迅速化、優先審査や早期承認が期待されます。
- ・血液脳関門通過型ムコ多糖症ⅢA型治療酵素製剤（開発番号：JR-441）については、2022年1月にECよりオーファンドラッグの指定を受けており、欧州（EU）領域における開発促進のための様々なインセンティブを受けることができます。現在、2023年上半期のグローバル臨床試験開始に向けた取り組みを進めております。
- ・その他のJ-Brain Cargo[®]を適用したライソゾーム病治療薬（ポンペ病治療薬（開発番号：JR-162）、スライ症候群治療薬（開発番号：JR-443）、サンフィリップ症候群B型治療薬（開発番号：JR-446））についても、研究開発を順次行うとともにグローバル展開を推進してまいります。また、新たに2022年3月にGM2ガングリオシドーシス治療薬（開発番号：JR-479）について、開発に着手することを決定いたしました。
- ・また、上記の他、2022年3月に武田薬品工業株式会社と、複数のライソゾーム病についてJ-Brain Cargo[®]技術を用いた遺伝子治療に関する共同研究開発契約を締結いたしました。これは、J-Brain Cargo[®]技術そのものを様々なモダリティに応用可能であることを示す第一歩となるものです。

[再生医療等製品]

- ・「テムセル[®]HS注」の新たな適応拡大として新生児低酸素性虚血性脳症（開発番号：JR-031HIE）に対する臨床第1/2相試験を実施しております。
- ・帝人株式会社との共同開発であった他家（同種）歯髄由来幹細胞（DPC）を用いた急性期脳梗塞を適応症とする再生医療等製品（開発番号：JTR-161/JR-161）については、2022年4月に共同開発を終結することで合意いたしました。

[ヒト成長ホルモン製剤]

- ・「グロウジェクト[®]」の効能追加としてSHOX異常症（開発番号：JR-401X）に対する臨床第3相試験を実施しております。
- ・遺伝子組換え持続型成長ホルモン製剤（開発番号：JR-142）の臨床第2相試験を実施しております。

※1 FDA Fast Track制度

重篤な疾患を治療するために、アンメットメディカルニーズを満たす治療薬の開発を促進し、審査を迅速化することを目的とした制度。ファストトラック制度に指定された医薬品は、開発計画についてFDAと頻繁にミーティングを行うほか、関連する基準を満たす場合に優先審査および早期承認の対象となる。

※2 EMA PRIME (PRiority Medicines)

アンメットメディカルニーズを対象とした医薬品の開発支援を強化するために開始したスキーム。PRIMEによって早期かつ積極的な支援を受けることで医薬品の申請を迅速に行うことが可能となり、また迅速審査の対象になる可能性がある

④次期の見通し

次期の連結業績の見通しは次のとおりです。

| | 当期実績 (2022年3月期) | 次期見通し (2023年3月期) | 増減額 | 増減率 |
|-----------------------|--------------------|---------------------|--------|--------|
| 売上高 (百万円) | 51,082 | 45,000 | △6,082 | △11.9% |
| 営業利益 (百万円) | 19,933 | 14,500 | △5,433 | △27.3% |
| 経常利益 (百万円) | 20,512 | 14,500 | △6,012 | △29.3% |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円) | 14,507 | 10,300 | △4,207 | △29.0% |

(売上高)

ハンター症候群治療薬イズカーゴ。につきましては、順調な販売数量の伸長による増収を見込んでおり、ライセンス事業につきましても引き続き積極的に取り組んでまいります。アストラゼネカ社の新型コロナウイルスに対するワクチンの原液の国内製造の受託の終了により、当社グループ全体で当期比11.9%減の450億円を見込んでおりますが、「グロウジェクト[®]」を始めとした主力製品につきましては、当期に引き続き増収を見込んでおります。

(利益)

研究開発活動につきましては、将来の更なる飛躍に向けて重要な位置付けと捉え、今後数年間は積極的な投資を見込んでおります。研究開発費の増加に加え、アストラゼネカ社の新型コロナウイルスに対するワクチンの原液の国内製造の受託の終了による売上高減収に伴う売上総利益の減少により、営業利益は145億円（当期比27.3%減）、経常利益は145億円（当期比29.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は103億円（当期比29.0%減）を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する概況

①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における資産合計は971億34百万円（前連結会計年度末比233億49百万円増）、負債合計は460億45百万円（前連結会計年度末比108億17百万円増）、純資産合計は510億89百万円（前連結会計年度末比125億31百万円増）となりました。

流動資産は、現金及び預金および受取手形、売掛金及び契約資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ136億42百万円増加して621億88百万円となりました。固定資産につきましては、有形固定資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ97億7百万円増加して349億46百万円となりました。

流動負債は、未払法人税等および圧縮未決算特別勘定が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ130億25百万円増加して420億54百万円となりました。固定負債は、長期借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ22億8百万円減少して39億90百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払があった一方で親会社株主に帰属する当期純利益の計上などにより、前連結会計年度末に比べ125億31百万円増加して510億89百万円となりました。

これらの結果、当連結会計年度末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.5ポイント上昇して51.8%となりました。

現時点では当社グループにおいて、新型コロナウイルス感染症の影響は受けておりませんが、今後の世界情勢の見通しが立たない中、当社グループがグローバルで持続的な成長を行うために、機動的かつ安定的に資金調達手段を確保する必要があり、各金融機関との間で、バックアップラインとして運転資金を確保する事を目的として、総額155億円のコミットメントライン契約を締結しております。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ44億72百万円増加して307億33百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況および主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、92億89百万円（前連結会計年度比10億52百万円の収入減）となりました。これは主に、売上債権の増加額74億2百万円、法人税等の支払額25億17百万円があった一方で、税金等調整前当期純利益の計上額194億4百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、32億50百万円（前連結会計年度比40百万円の支出減）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出113億33百万円があった一方で、助成金の受取額81億67百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、21億79百万円（前連結会計年度比104億83百万円の支出増）となりました。これは主に、配当金の支払額21億69百万円があったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

| | 2018年3月期 | 2019年3月期 | 2020年3月期 | 2021年3月期 | 2022年3月期 |
|-----------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 自己資本比率 | 70.3% | 71.1% | 66.6% | 51.3% | 51.8% |
| 時価ベースの自己資本比率 | 486.2% | 472.3% | 607.9% | 600.6% | 287.6% |
| キャッシュ・フロー 対有利子負債比率 | 1.9年 | 1.5年 | 1.8年 | 1.8年 | 2.0年 |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ | 113.0倍 | 182.4倍 | 219.0倍 | 223.7倍 | 202.9倍 |

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

※キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローを採用しております。有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象にしております。また、利払いについては連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益の還元を経営上の重要な施策の一つとして位置づけております。

剰余金の配当等の決定に関しては、将来の利益の源泉となる新薬開発や経営体質強化のための内部留保を確保しつつ、業績およびキャッシュ・フローの状況などを勘案しながら継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。

当期は過去最高の業績を更新いたしましたことから、期末配当金において、1株当たり2円の特別配当を実施することとし、上記の基本方針のもと2022年5月12日開催の取締役会におきまして1株当たり12円（うち特別配当2円）とさせていただくことを決議いたしました。

なお、当社は2020年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前期の期首（2020年4月1日）に株式分割が行われたと仮定して算定した場合、前期の年間配当金は1株当たり12円となります。当期の年間配当金は1株につき22円（中間配当金10円、期末配当金12円）となり、前期に比べて10円の増配となります。

内部留保資金につきましては、企業体質を強化し、持続的な収益向上と利益還元に寄与する原資として有効活用してまいります。

また、次期（2023年3月期）の配当につきましては、1株当たり20円（中間配当金10円、期末配当金10円）を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、会計基準につきまして日本基準を採用しております。

国際会計基準につきましては、日本国内の採用動向を踏まえつつ検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当連結会計年度 (2022年3月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 26,260 | 30,733 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 8,183 | 15,585 |
| 有価証券 | — | 244 |
| 商品及び製品 | 1,367 | 2,121 |
| 仕掛品 | 3,538 | 5,024 |
| 原材料及び貯蔵品 | 8,649 | 7,491 |
| その他 | 546 | 986 |
| 流動資産合計 | 48,545 | 62,188 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 6,295 | 6,086 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 1,282 | 1,308 |
| 土地 | 7,663 | 10,379 |
| 建設仮勘定 | 841 | 8,019 |
| その他（純額） | 1,088 | 989 |
| 有形固定資産合計 | 17,172 | 26,782 |
| 無形固定資産 | | |
| 特許権 | 2,988 | 2,711 |
| その他 | 244 | 249 |
| 無形固定資産合計 | 3,232 | 2,960 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,572 | 2,230 |
| 退職給付に係る資産 | 225 | 213 |
| 繰延税金資産 | 1,739 | 2,433 |
| その他 | 300 | 330 |
| 貸倒引当金 | △4 | △4 |
| 投資その他の資産合計 | 4,833 | 5,202 |
| 固定資産合計 | 25,238 | 34,946 |
| 資産合計 | 73,784 | 97,134 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当連結会計年度 (2022年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,932 | 1,324 |
| 短期借入金 | 12,850 | 15,150 |
| 未払金 | 2,295 | 5,189 |
| 未払法人税等 | 2,646 | 5,915 |
| 圧縮未決算特別勘定 | 3,828 | 11,996 |
| 賞与引当金 | 850 | 902 |
| 役員賞与引当金 | 63 | 102 |
| その他 | 3,560 | 1,473 |
| 流動負債合計 | 29,028 | 42,054 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 500 | 500 |
| 長期借入金 | 4,750 | 2,450 |
| 従業員株式給付引当金 | 62 | 78 |
| 退職給付に係る負債 | 798 | 870 |
| その他 | 88 | 92 |
| 固定負債合計 | 6,199 | 3,990 |
| 負債合計 | 35,227 | 46,045 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 9,061 | 9,061 |
| 資本剰余金 | 10,941 | 10,994 |
| 利益剰余金 | 20,904 | 33,241 |
| 自己株式 | △3,685 | △3,600 |
| 株主資本合計 | 37,222 | 49,697 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 691 | 619 |
| 繰延ヘッジ損益 | 0 | 0 |
| 為替換算調整勘定 | △18 | 30 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △31 | △32 |
| その他の包括利益累計額合計 | 641 | 618 |
| 新株予約権 | 517 | 567 |
| 非支配株主持分 | 174 | 205 |
| 純資産合計 | 38,557 | 51,089 |
| 負債純資産合計 | 73,784 | 97,134 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|--|--|--|
| 売上高 | 30,085 | 51,082 |
| 売上原価 | 7,812 | 10,461 |
| 売上総利益 | 22,272 | 40,620 |
| 販売費及び一般管理費 | 14,003 | 20,686 |
| 営業利益 | 8,269 | 19,933 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 7 | 7 |
| 受取配当金 | 25 | 28 |
| 為替差益 | 206 | 551 |
| その他 | 65 | 68 |
| 営業外収益合計 | 305 | 656 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 42 | 45 |
| 支払手数料 | 11 | 12 |
| その他 | 31 | 18 |
| 営業外費用合計 | 85 | 77 |
| 経常利益 | 8,488 | 20,512 |
| 特別利益 | | |
| 関係会社清算益 | 22 | — |
| 債務保証損失引当金戻入額 | 108 | — |
| 貸倒引当金戻入額 | 19 | — |
| 自主回収関連損失戻入額 | 19 | — |
| 投資有価証券売却益 | — | 0 |
| 特別利益合計 | 170 | 0 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 5 | 2 |
| 契約解約損 | — | ※ 1,000 |
| その他 | — | 105 |
| 特別損失合計 | 5 | 1,108 |
| 税金等調整前当期純利益 | 8,653 | 19,404 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,836 | 5,549 |
| 法人税等調整額 | △1,072 | △663 |
| 法人税等合計 | 1,764 | 4,886 |
| 当期純利益 | 6,888 | 14,517 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失 (△) | △4 | 10 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 6,892 | 14,507 |

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 当期純利益 | 6,888 | 14,517 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 107 | △71 |
| 繰延ヘッジ損益 | 0 | 0 |
| 為替換算調整勘定 | △162 | 68 |
| 退職給付に係る調整額 | 7 | △0 |
| その他の包括利益合計 | △47 | △3 |
| 包括利益 | 6,841 | 14,514 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 6,855 | 14,483 |
| 非支配株主に係る包括利益 | △14 | 31 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|-------------------------|-------|--------|--------|--------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 9,061 | 10,891 | 15,039 | △3,865 | 31,127 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △1,083 | | △1,083 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | 6,892 | | 6,892 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 自己株式の処分 | | 49 | | 181 | 230 |
| 連結子会社株式の変動 による持分の増減 | | 1 | 55 | | 56 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | 50 | 5,865 | 180 | 6,095 |
| 当期末残高 | 9,061 | 10,941 | 20,904 | △3,685 | 37,222 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | | 新株予約権 | 非支配株主 持分 | 純資産合計 |
|-------------------------|----------------------|-------------|--------------|----------------------|-----------------------|-------|-------------|--------|
| | その他有価 証券評価差 額金 | 繰延ヘッジ損 益 | 為替換算調 整勘定 | 退職給付に 係る調整累 計額 | その他の包 括利益累計 額合計 | | | |
| 当期首残高 | 583 | — | 134 | △39 | 679 | 584 | 189 | 32,579 |
| 当期変動額 | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | | △1,083 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | | | | | | 6,892 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | | △0 |
| 自己株式の処分 | | | | | | | | 230 |
| 連結子会社株式の変動 による持分の増減 | | | | | | | | 56 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | 107 | 0 | △152 | 7 | △37 | △66 | △14 | △118 |
| 当期変動額合計 | 107 | 0 | △152 | 7 | △37 | △66 | △14 | 5,977 |
| 当期末残高 | 691 | 0 | △18 | △31 | 641 | 517 | 174 | 38,557 |

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|-------------------------|-------|--------|--------|--------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 9,061 | 10,941 | 20,904 | △3,685 | 37,222 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △2,170 | | △2,170 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | 14,507 | | 14,507 |
| 自己株式の処分 | | 53 | | 85 | 138 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | — |
| 当期変動額合計 | — | 53 | 12,336 | 85 | 12,475 |
| 当期末残高 | 9,061 | 10,994 | 33,241 | △3,600 | 49,697 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | | 新株予約権 | 非支配株主 持分 | 純資産合計 |
|-------------------------|----------------------|-------------|--------------|----------------------|-----------------------|-------|-------------|--------|
| | その他有価 証券評価差 額金 | 繰延ヘッジ損 益 | 為替換算調 整勘定 | 退職給付に 係る調整累 計額 | その他の包 括利益累計 額合計 | | | |
| 当期首残高 | 691 | 0 | △18 | △31 | 641 | 517 | 174 | 38,557 |
| 当期変動額 | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | | △2,170 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | | | | | | 14,507 |
| 自己株式の処分 | | | | | | | | 138 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | △71 | 0 | 48 | △0 | △23 | 49 | 30 | 56 |
| 当期変動額合計 | △71 | 0 | 48 | △0 | △23 | 49 | 30 | 12,531 |
| 当期末残高 | 619 | 0 | 30 | △32 | 618 | 567 | 205 | 51,089 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|-----------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 8,653 | 19,404 |
| 減価償却費 | 1,892 | 1,945 |
| 債務保証損失引当金の増減額 (△は減少) | △108 | — |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 74 | 74 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 137 | 51 |
| 株式報酬費用 | 149 | 177 |
| 受取利息及び受取配当金 | △33 | △35 |
| 支払利息 | 42 | 45 |
| 為替差損益 (△は益) | △140 | △544 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △205 | △7,402 |
| 未収入金の増減額 (△は増加) | 1 | △99 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △4,699 | △1,082 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 2,253 | △1,608 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | 202 | 3,033 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | 175 | △120 |
| 前受金の増減額 (△は減少) | 2,493 | △1,877 |
| その他 | 265 | △143 |
| 小計 | 11,156 | 11,817 |
| 利息及び配当金の受取額 | 39 | 35 |
| 利息の支払額 | △46 | △45 |
| 法人税等の支払額又は還付額 (△は支払) | △807 | △2,517 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 10,341 | 9,289 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △300 | △300 |
| 定期預金の払戻による収入 | 345 | 300 |
| 有価証券の売却及び償還による収入 | 239 | — |
| 有形固定資産の取得による支出 | △4,780 | △11,333 |
| 助成金の受取額 | 3,892 | 8,167 |
| 特許権の取得による支出 | △2,747 | — |
| 投資有価証券の取得による支出 | △91 | — |
| その他 | 152 | △84 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △3,290 | △3,250 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の増減額 (△は減少) | 8,320 | — |
| 長期借入れによる収入 | 1,250 | 750 |
| 長期借入金の返済による支出 | △650 | △750 |
| 社債の発行による収入 | 500 | — |
| リース債務の返済による支出 | △47 | △20 |
| 自己株式の純増減額 (△は増加) | 13 | 10 |
| 配当金の支払額 | △1,083 | △2,169 |
| その他 | 1 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 8,304 | △2,179 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △22 | 612 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 15,332 | 4,472 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 10,928 | 26,260 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 26,260 | 30,732 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、従来、販売費及び一般管理費に計上しておりました支払手数料の一部を、売上高より控除する方法に変更しております。また、従来、純額で計上しておりました販売促進費の一部を、売上高および売上原価に計上する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当連結会計年度の売上高は57百万円増加し、売上原価は280百万円増加し、販売費及び一般管理費は223百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益および税金等調整前当期純利益に影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当連結会計年度より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示しております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる連結財務諸表への影響はありません。

(連結損益計算書関係)

※契約解約損

前臨床段階であった一部の開発品に関しまして、締結していた優先交渉権について契約当事者間で双方合意の上で、2021年5月に契約を解消することとなりました。

本件に伴い、契約解約損が発生しております。

(セグメント情報)

当社グループは「医薬品事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び算定上の基礎、1株当たり当期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり当期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当連結会計年度 (2022年3月31日) |
|------------------------------|-------------------------|-------------------------|
| (1) 1株当たり純資産額 (円) | 306.31 | 406.57 |
| (算定上の基礎) | | |
| 連結貸借対照表の純資産の部の合計額 (百万円) | 38,557 | 51,089 |
| 普通株式に係る純資産額 (百万円) | 37,864 | 50,316 |
| 差額の主な内訳 (百万円) | | |
| 新株予約権 | 517 | 567 |
| 非支配株主持分 | 174 | 205 |
| 普通株式の発行済株式数 (株) | 129,686,308 | 129,686,308 |
| 普通株式の自己株式数 (株) | 6,071,644 | 5,929,344 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数 (株) | 123,614,664 | 123,756,964 |

| 項目 | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|--|--|--|
| (2) 1株当たり当期純利益 (円) | 55.81 | 117.26 |
| (算定上の基礎) | | |
| 連結損益計算書上の親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円) | 6,892 | 14,507 |
| 普通株主に帰属しない金額 (百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円) | 6,892 | 14,507 |
| 普通株式の期中平均株式数 (株) | 123,517,401 | 123,720,398 |
| (3) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 (円) | 55.53 | 116.80 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円) | — | — |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に用いられた普通株式増加数の主要な内訳 (株) | | |
| 新株予約権 | 615,252 | 488,821 |
| 普通株式増加数 (株) | 615,252 | 488,821 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要 | — | — |

- (注) 1 株主資本において自己株式として計上されている株式給付信託制度における信託が保有する自社の株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております。また、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式数に含めております。1株当たり当期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は前連結会計年度371,366株、当連結会計年度349,666株であり、1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は、前連結会計年度363,900株、当連結会計年度343,600株であります。
- 2 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益および潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

研究開発項目

遺伝子組換え医薬品

| 開発番号 (一般名) | 開発段階 | 適応症等 | 備考 |
|--|--|---|---|
| JR-141 (血液脳関門通過型遺伝子組換え イズロン酸-2-スルファターゼ) | ブラジル: 製造販売 承認申請 グローバル: 臨床 第3相試験 | ムコ多糖症II型 (ハンター症候群) | 酵素補充療法 「J-Brain Cargo [®] 」採用 |
| JR-171 (血液脳関門通過型遺伝子組換え α-L-イズロニダーゼ) | グローバル: 臨床 第1/2 相試験 | ムコ多糖症I型 (ハーラー症候群等) | 酵素補充療法 「J-Brain Cargo [®] 」採用 「J-MIG System [®] 」採用 |
| JR-162 (J-Brain Cargo [®] 適用遺伝子組換え酸性 α-グルコシダーゼ) | 前臨床 | ボンペ病 | 酵素補充療法 「J-Brain Cargo [®] 」採用 |
| JR-441 (血液脳関門通過型遺伝子組換え ヘパランN-スルファターゼ) | 前臨床 | ムコ多糖症III A型 (サンフィリップ症候群 A型) | 酵素補充療法 「J-Brain Cargo [®] 」採用 |
| JR-443 (血液脳関門通過型遺伝子組換え β-グルクロニダーゼ) | 前臨床 | ムコ多糖症VII型 (スライ症候群) | 酵素補充療法 「J-Brain Cargo [®] 」採用 |
| JR-446 (血液脳関門通過型遺伝子組換え α-N-アセチルグルコサミニダー ゼ) | 前臨床 | ムコ多糖症III B型 (サンフィリップ症候群 B型) | 酵素補充療法 「J-Brain Cargo [®] 」採用 |
| JR-479 (血液脳関門通過型遺伝子組換え β-ヘキソサミニダーゼA) | 前臨床 | GM2 ガングリオシドー シス (テイ・サックス病、サ ンドホフ病) | 酵素補充療法 「J-Brain Cargo [®] 」採用 |
| JR-401X (遺伝子組換えソマトロピン) | 臨床 第3相試験 | SHOX異常症における 低身長症 | 「グロウジェクト [®] 」適応拡大 |
| JR-142 (遺伝子組換え持続型成長ホルモン) | 臨床 第2相試験 | 小児成長ホルモン分泌不 全性低身長症 | 「J-MIG System [®] 」採用 |

再生医療等製品

| 開発番号 (一般名) | 開発段階 | 適応症等 | 備考 |
|-------------------------|-------------------|------------------|------------------------------|
| JR-031HIE (ヒト間葉系幹細胞) | 臨床 第1/2 相試験 | 新生児低酸素性虚血性脳 症 | 「テムセル [®] H S注」適応拡大 |